

# 市立長井中学校部室新築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	S-01	構造設計特記仕様
A-01	特記仕様書1	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図
A-02	特記仕様書2	S-03	鉄骨構造標準図
A-03	工事概要・案内図・配置図・求積図・建物位置図	S-04	伏図
A-04	仕上表	S-05	軸組図
A-05	平面図・立面図・断面図	S-06	部材リスト
A-06	平面詳細図	S-07	鉄骨詳細図
A-07	矩計図		
A-08	建具表・展開図		
A-09	体育館平面図	E-01	図面リスト・特記仕様書・配置図
A-10	外構図	E-02	盤結線図・照明器具参考姿図・部室平面図・凡例
A-11	仮設計画図	E-03	体育館平面図
		E-04	体育館 既設平面図（撤去図）

横須賀市都市部建築計画課		
建築計画課長	主査等	担当者

一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号  
 管理建築士 一級建築士登録 第 号

市立長井中学校部室新築工事



表紙・図面リスト

縮尺

00 特記仕様書の取扱いについて

- 1. 項目は、項目番号に、○印をつけたものを適用する。
2. 細目は、○印をつけたものを適用する。
3. その他特記事項は、( ) 内に記載する。
4. 製造会社、施工会社指定については、後欄のメーカーリストに依るものとし、同等品以上と読み替える事も可能である。但し、その使用、採用に当たっては、監督員の承認を受ける。

01 一般共通事項

- 1 適用範囲
2 疑義
3 優先順位
4 材料試験
5 提出図書
6 定例打合せ
7 既設部分との取合

02 仮設工事

- 1 仮囲い
3 看板
4 工事用水電力
5 障害物の処理
6 設計 G. L.
7 保護設備

03 土工事

- 1 根切り
2 敷地整理
3 埋戻し、盛土
4 残土処分

04 地業工事

- 1 地耐力試験
4 地盤改良
5 割栗及び砂利地業
6 ラップルコンクリート地業
7 捨てコンクリート地業
8 ポリエチレンフィルム敷き
9 特殊工法

05 コンクリート工事 構造図による

- 1 鉄筋コンクリート

- 2 無筋コンクリート
3 軽量コンクリート(非構造用)
4 型枠

06 鉄筋工事 構造図による

- 1 一般事項
2 材料
3 継手
4 鉄筋スペーサー
5 継手部の試験
6 提出書類

07 鉄骨工事 構造図による

- 1 一般事項
2 普通鋼
3 防錆処理
4 溶接部の試験
5 溶接工の技量確認
6 提出書類

09 外装工事

- 3 サイディング

10 防水工事

- 1 一般事項
10 コーキング材

14 屋根工事

- 1 金属板葺
4 種
5 支持金物

15 金属工事

- 1 一般事項
3 軽量鉄骨天井及び壁下地材
7 点検口
8 格子蓋

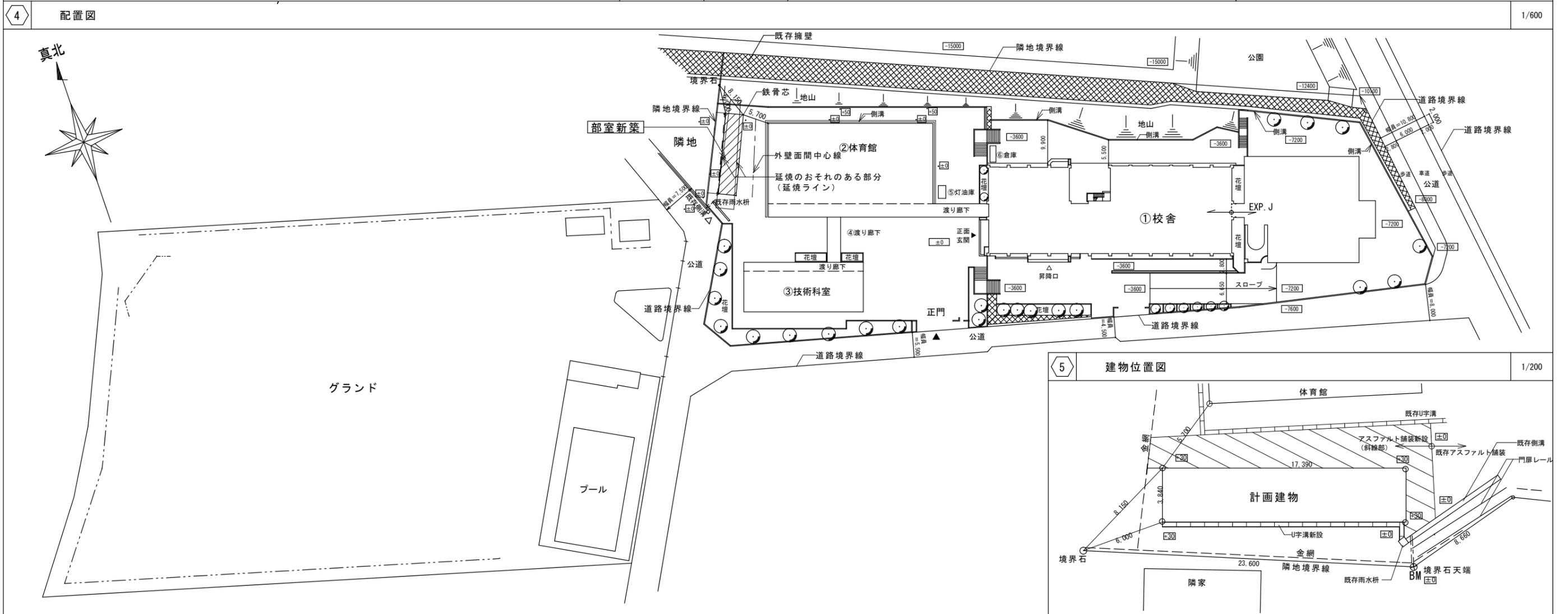
横須賀市都市部建築計画課

建築計画課長 主査等 担当者

一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号
管理建築士 一級建築士登録 第 号

市立長井中学校部室新築工事

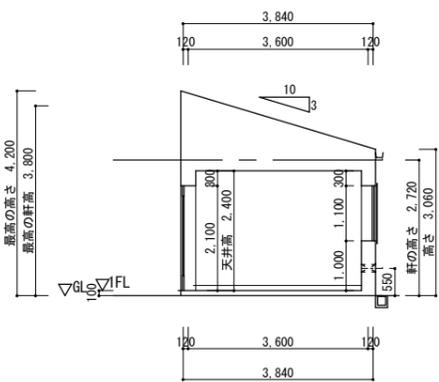
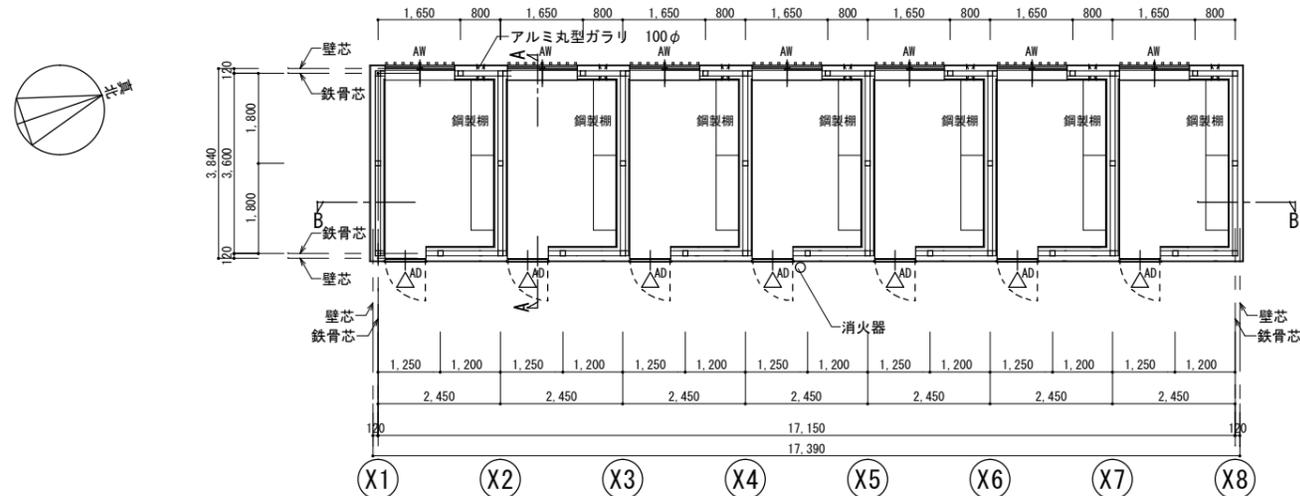




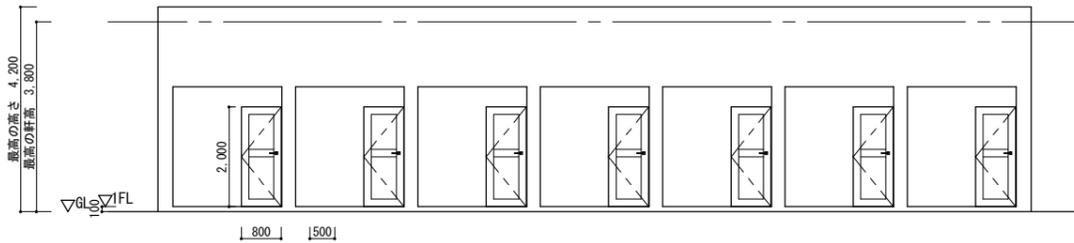
<p>横須賀市都市部建築計画課</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>建築計画課長</td> <td>主査等</td> <td>担当者</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	建築計画課長	主査等	担当者				<p>一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号 管理建築士 一級建築士登録 第 号</p>	<p>市立長井中学校部室新築工事</p>	<p>Ⓐ — 03</p>
建築計画課長	主査等	担当者							
<p>工事概要・案内図・配置図・求積図・建物位置図</p>		<p>縮尺 A2:100% 表示 A3:70.7% 表示</p>							

外部仕上表	
基礎	コンクリート打放しB種
外壁	窯業系サイディング t16 縦張 (防火構造 PC030BE-9202)
建具	アルミ製建具 (防火設備)
屋根	2%マグネシウム添加ガルバリウム鋼板(ガラス繊維配合強化塗膜) t0.35 (NM-8697) 一硬質木片セメント板 t18 横葺W270程度
軒樋	塩化ビニル製 角型W150
壁樋	硬質ポリ塩化ビニル製 壁樋φ100 VP
排水その他の配管設備	U形側溝 (プレキャスト) 300A SUS製グレーチング

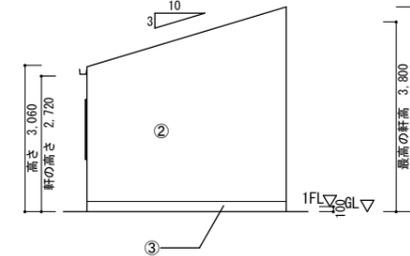
内部仕上表								
	床	巾木	高	壁	見切縁	天井	天井高	備考
更衣室	コンクリート金ゴテ仕上 (a種)	ビニル巾木	100	軽量鉄骨壁下地(LGS)65形強化石膏ボード t15 (NM-8615) EP-G B種 素地ごしらえA種	塩ビ製	軽量鉄骨天井下地19形化粧石膏ボード t9.5 (NM-1864) 点検口450角1か所	2400	鋼製棚 D450*W1500*H1800 各室2台ずつ



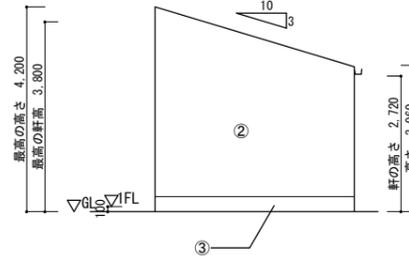
A 断面図 1/100



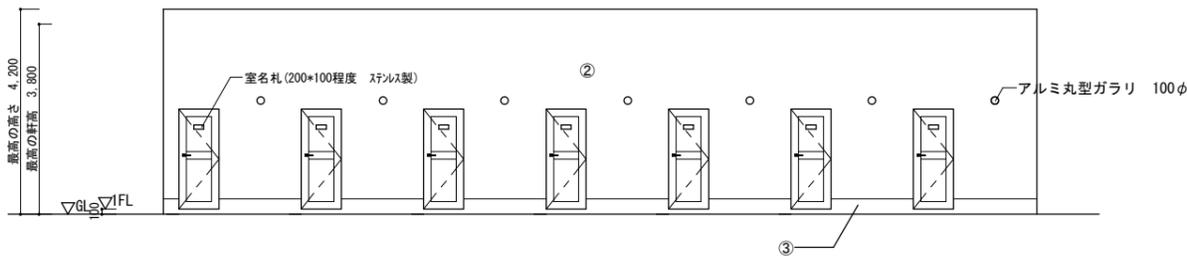
B 断面図 1/100



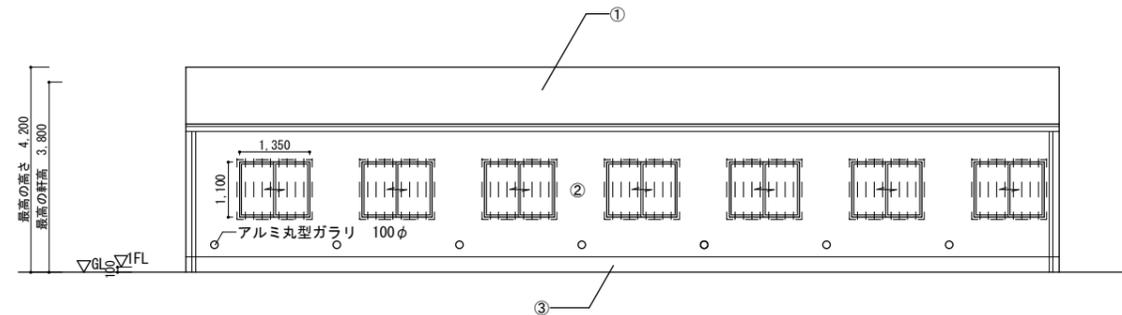
南 立面図 1/100



北 立面図 1/100



東 立面図 1/100



西 立面図 1/100

- ① 2%マグネシウム添加ガルバリウム鋼板
  - ② 窯業系サイディング t16 縦張 (防火構造 PC030BE-9202)
  - ③ コンクリート打放しB種
- \* AD (800\*2000) ・ AW (1350\*1100) すべて防火設備  
アルミ丸型ガラリはFD付き

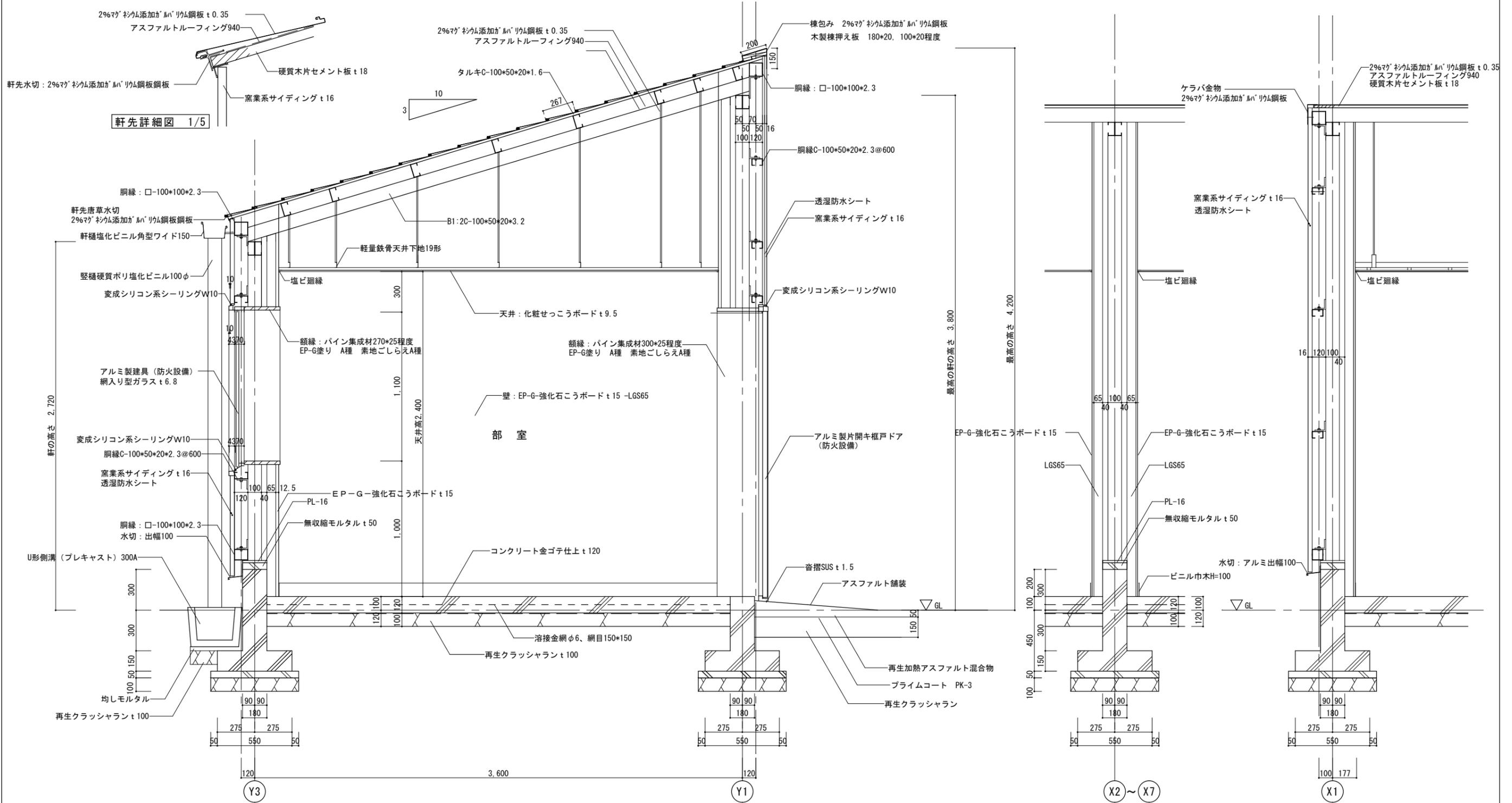
横須賀市都市部建築計画課		
建築計画課長	主査等	担当者

一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号  
管理建築士 一級建築士登録 第 号

市立長井中学校部室新築工事

平面図・立面図・断面図

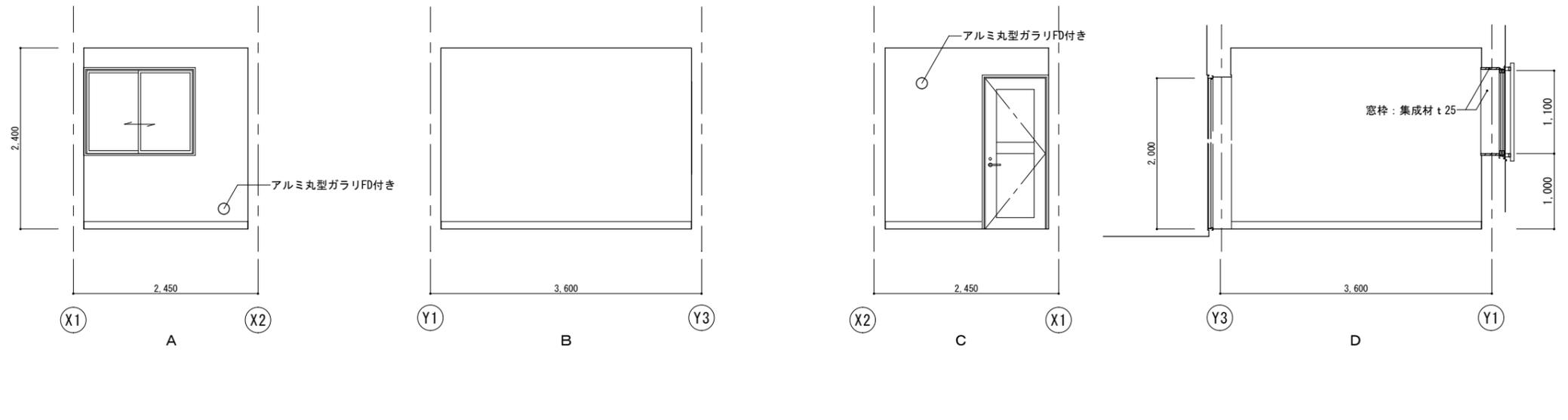


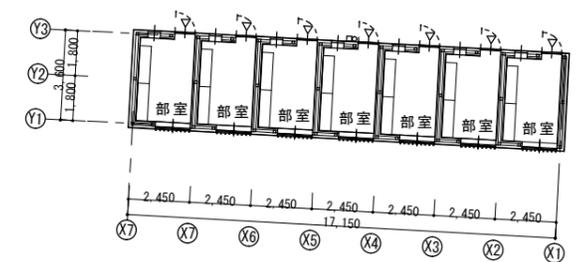
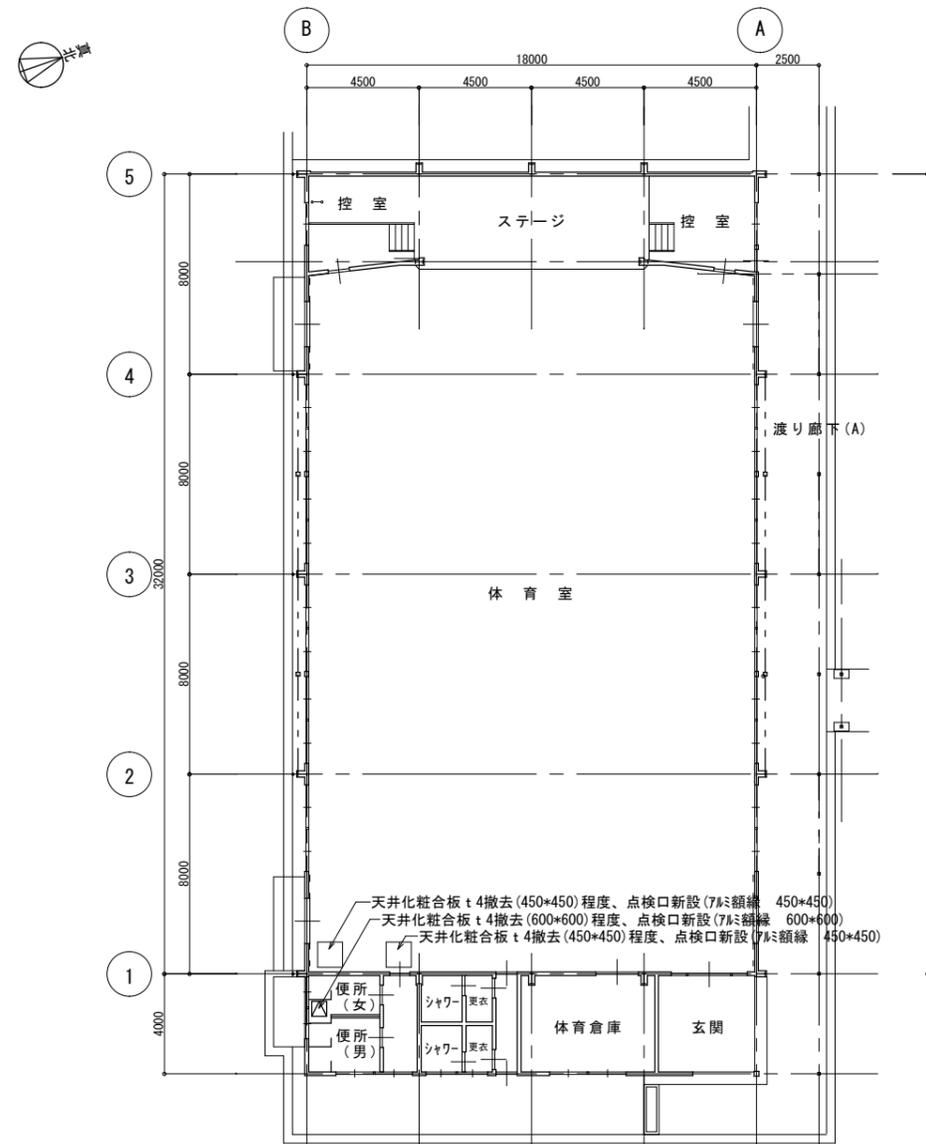


横須賀市都市部建築計画課			一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号 管理建築士 一級建築士登録 第 号	市立長井中学校部室新築工事	A — 07
建築計画課長	主査等	担当者			
			矩計図		縮尺 1/20 A2: 100% A3: 70.7% 表示

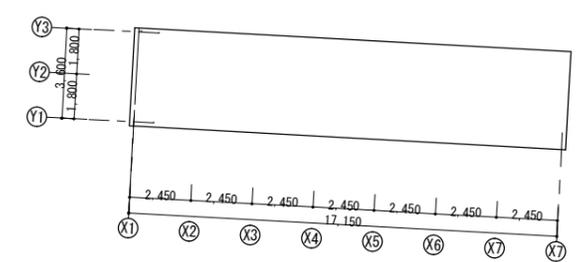
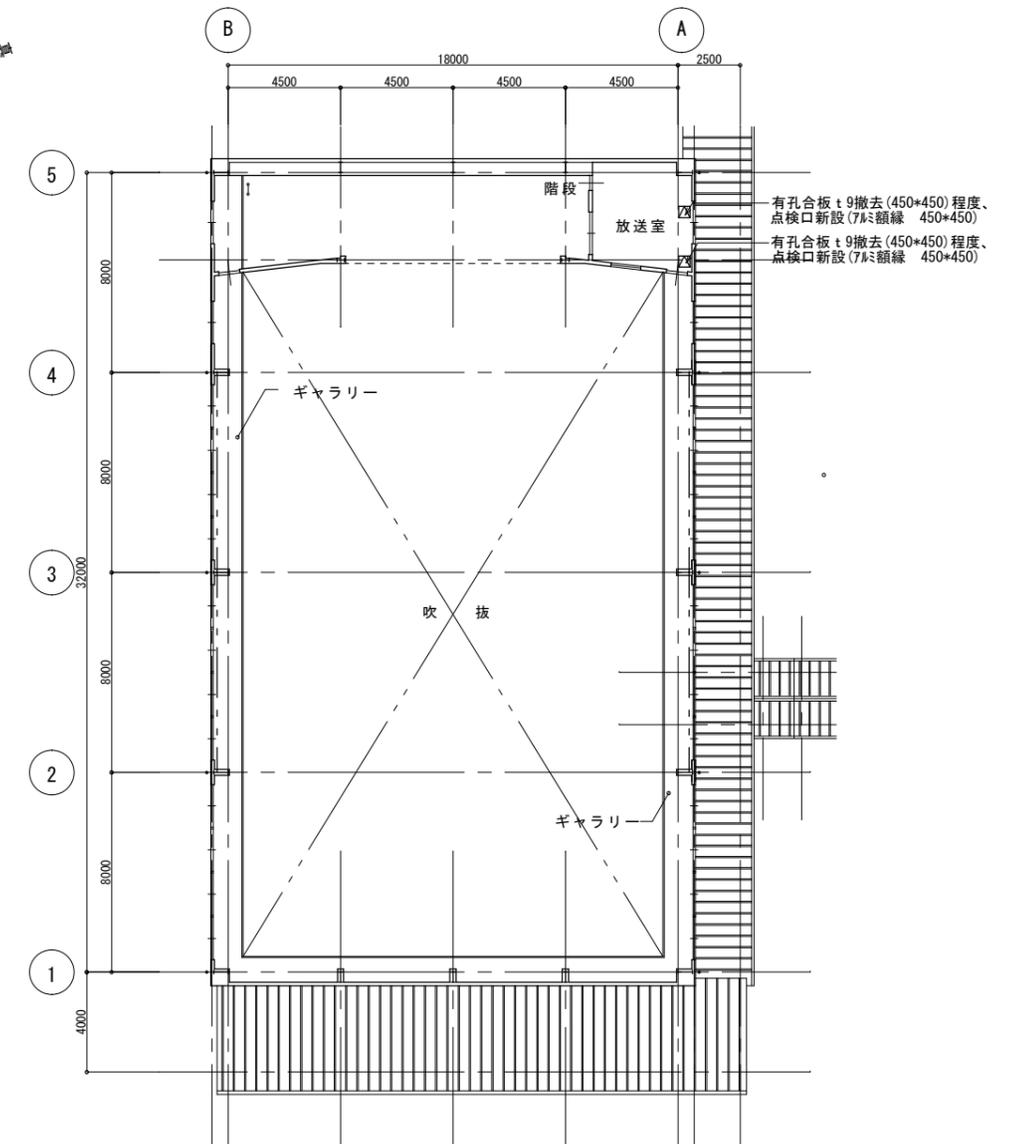
記号・数量	AD 7	AW 7
名称	アルミ製片開扉ドア	アルミ製引違い窓
形状		
内法 (W×H)	W800×H2,000	W1,350×H1,100
硝子・見込	網入り型ガラス t=6.8 見込 70	網入り型ガラス t=6.8 見込 70
材質・塗装	アルミ シルバー	アルミ シルバー
金物	ドアクローザー (ストッパー付き) レバーハンドル錠 外: シリンダー錠 内: 空錠 丁番SUS ステンレス沓摺	クレセント, 可動網戸 (ステン) アルミ製縦面格子 1350*1150 格子ピッチ110mm
備考	防火設備認定番号 EB3108-1 同等品以上 防火戸用指定シーリング	防火設備認定番号 EB2746-4 同等品以上 防火戸用指定シーリング

仕上表	
室名	部室
床	コンクリート直均し
巾木	ビニル巾木 H=100
壁	EP-G-強化石膏ボード t=15
天井	化粧石膏ボード貼 t=9.5
備考	鋼製棚 D450*W1500*H1800 2連 アルミ丸型ガラリ100φ、FD、防虫網付





天井化粧合板 t4撤去 (450\*450) 程度、点検口新設 (7#ニ額縁 450\*450)  
 天井化粧合板 t4撤去 (600\*600) 程度、点検口新設 (7#ニ額縁 600\*600)  
 天井化粧合板 t4撤去 (450\*450) 程度、点検口新設 (7#ニ額縁 450\*450)



有孔合板 t9撤去 (450\*450) 程度、  
 点検口新設 (7#ニ額縁 450\*450)  
 有孔合板 t9撤去 (450\*450) 程度、  
 点検口新設 (7#ニ額縁 450\*450)

横須賀市都市部建築計画課		
建築計画課長	主査等	担当者

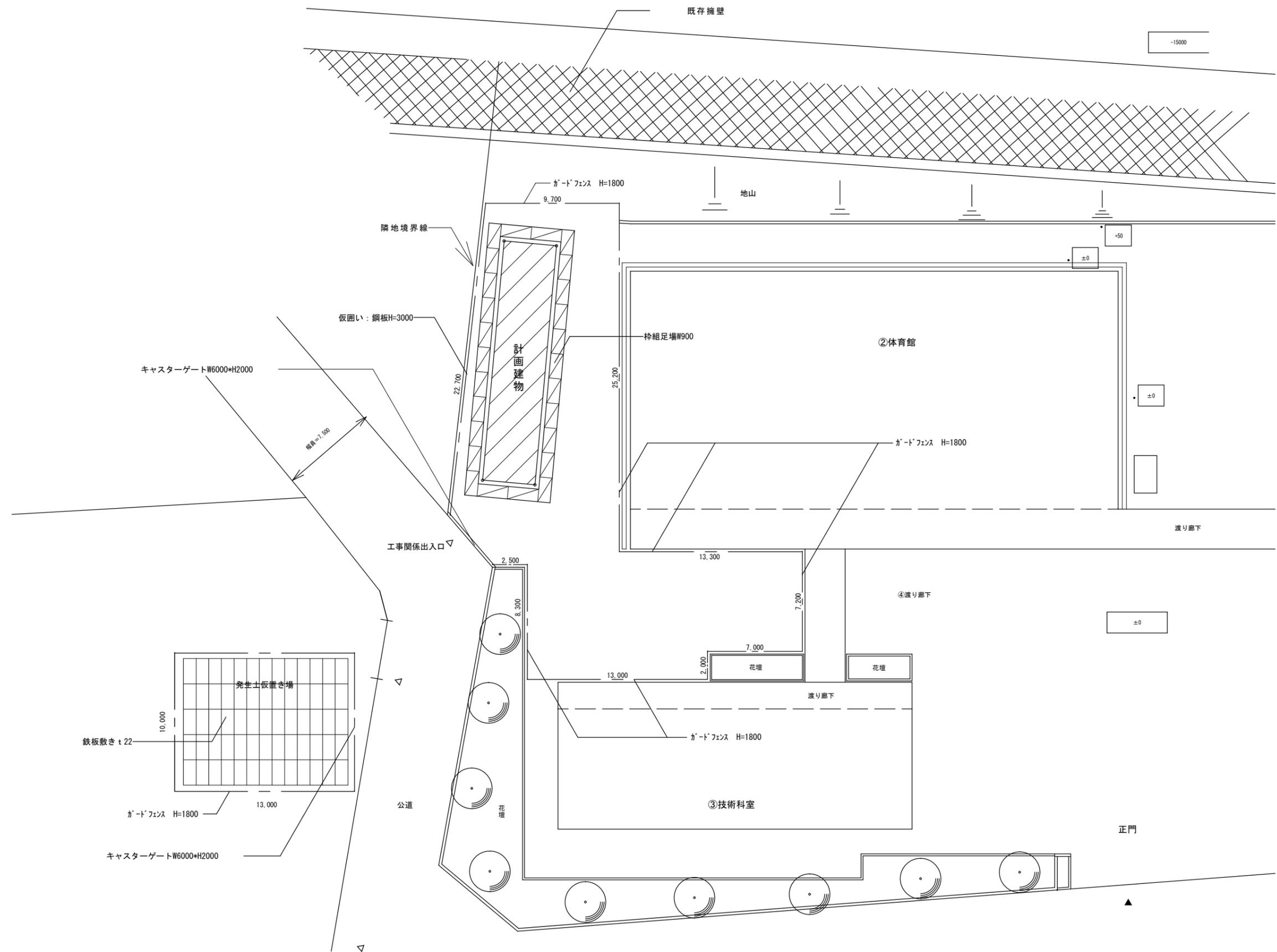
一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号  
 管理建築士 一級建築士登録 第 号

市立長井中学校部室新築工事

体育館 平面図

縮尺 1/200 A2: 100% A3: 70.7% 表示





横須賀市都市部建築計画課		
建築計画課長	主査等	担当者

一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号  
 管理建築士 一級建築士登録 第 号

市立長井中学校部室新築工事

仮設計画図

縮尺 1/200 A2: 100% 表示  
A3: 70.7% 表示



# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図

RC・SRC用

## 1. 一般事項

- (1) 「建築工事標準仕様書・解説JASS5 鉄筋コンクリート工事」 最新版による  
(社団法人 日本建築学会) による。  
それにも無いものは「鉄筋コンクリート造配筋指針・解説書」(社団法人 日本建築学会) による。  
それにも無いものは「公共建築工事標準仕様書」(社団法人 公共建築協会) による。
- (2) 記号  
d: 異形鉄筋の呼び名に用いた数値丸線では径 D: 部材の成 R: 半径  
⊙: 間隔 r: 半径 CL: 中心線 IO: 部材間の内法距離 h0: 部材間の内法高さ  
ST: あばら筋 HOOP: 帯筋 S. HOOP: 相強帯筋 φ: 直径又は丸線

## 2. 鉄筋加工, かぶり

- 鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ、常温で正しく加工する。
- 有害な曲がり、ひび割れ、さくれなどの損傷のある鉄筋を使用してはならない。
- パインコイルの鉄筋は、直線部にかけて使用する。
- 鉄筋の切断は、シャークカット 又はこれによって行う。但し、やむを得ない場合は、工事監督者の承認を受けて、ガス切断とする事ができる。
- 鉄筋には、点付け溶接、アークスライクなどを行ってはならない。但し、工事監督者の承認を受けて、鉄筋を加熱して溶接する場合は、点付け溶接とする事ができる。
- 鉄筋の溶接は、アーク溶接とし、溶接工は工事に相応した技能を有する者とする。

### (1) 鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内部直径(D)	折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部又はスラブと同時打ち込むT形及びL形梁のキャップタ イにのみ用いる。
180°		SR235 SR295 SD345	16φ以下	3d以上	キャップタイ
			D16以下	3d以上	
135°		SR235 SR295 SD345	19φ	4d以上	キャップタイ
			D19~D38	4d以上	
90°		SD390	D41以下	5d以上	
90°		SD490	D25以下	5d以上	
			D29~D41	6d以上	

(1) dは丸線では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値とする。  
\*片持ちスラブ上端筋の先端

### 2) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

#### 異形鉄筋の定着長さ

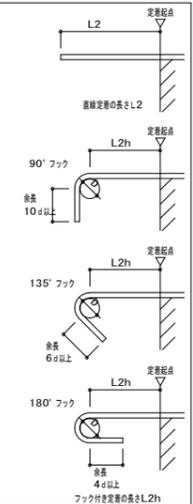
##### (a) 直線定着の長さL2

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490
18	40d	40d	40d	40d
21	35d	35d	40d	45d
24	35d	35d	40d	45d
27	30d	35d	40d	45d
30~36	30d	30d	35d	40d
39~45	25d	30d	35d	40d
48~60	25d	25d	30d	35d

##### (b) フック付き定着の長さL2h

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490
18	30d	30d	30d	30d
21	25d	25d	30d	35d
24	25d	25d	30d	35d
27	20d	25d	30d	35d
30~36	20d	20d	25d	30d
39~45	15d	20d	25d	30d
48~60	15d	15d	20d	25d

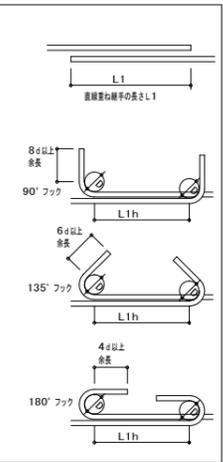
(注) 軽量コンクリートを使用する場合の定着長さは特記による。特記が無い場合はFc≦36N/mm<sup>2</sup>の軽量コンクリートとSD490以外の異形鉄筋を併用して、上記の数値に5d以上加算した定着長とし、工事監督者の承認を得ること。  
構造計算ルートがX、Y方向共にルート3以外は梁主筋の柱への定着は40d以上とする。



#### 異形鉄筋の定着長さ

##### (g) 特別な定着及び重ね継手の長さL1

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490
18	45d	50d	50d	50d
21	40d	45d	50d	50d
24	40d	40d	45d	55d
27	35d	40d	45d	55d
30~36	35d	35d	40d	50d
39~45	30d	35d	40d	45d
48~60	30d	30d	35d	40d



##### (h) フック付きの特別な定着及び重ね継手の長さL1h

コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490
18	35d	35d	35d	35d
21	30d	30d	35d	35d
24	30d	30d	35d	40d
27	25d	30d	35d	40d
30~36	25d	25d	30d	35d
39~45	20d	25d	30d	35d
48~60	20d	20d	25d	30d

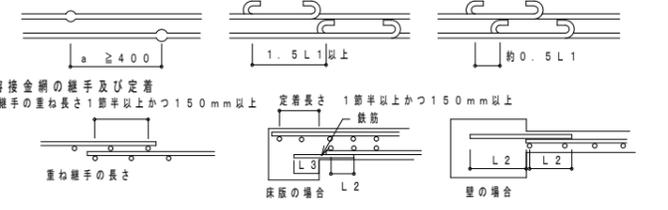
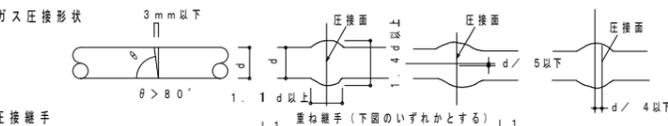
(注) (1) 重量の異なる鉄筋相互の重ね継手の長さは、最小のdによる。  
(2) 軽量コンクリートを使用する場合の定着長さは特記による。特記が無い場合はFc≦36N/mm<sup>2</sup>の軽量コンクリートとSD490以外の異形鉄筋を併用して、上記の数値に5d以上加算した定着長とし、工事監督者の承認を得ること。なお、鉄筋の径に300mm以上の軽量コンクリートで打ち込む部材の上端部の重ね継手はフック付きとする。

#### 丸線の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通 軽量コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	定着長さ			特別な定着及び重ね継手の長さ (L1)
		一般 (L2)	下場筋 (L3)	スラブ	
SR235	21, 24	40dフック付き	25dフック付き	15cmフック付き	40dフック付き
	18	45dフック付き	25dフック付き	15cmフック付き	45dフック付き

#### 継手

- 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない。
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長 5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。
- 斜交スラブの下場筋の定着長さは、一般定着 (L2) とする。



#### 溶接金網の継手及び定着



#### (4) かぶり厚さ (単位: mm)

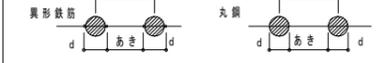
部位	設計供用期間の経が標準・長期		最小かぶり厚さ (mm)
	設計及び施工かぶり厚さ (mm)	経が標準・長期	
土に接しない部分	層間スラブ	層内	30
	床スラブ	層外	40 <sup>(1)</sup>
	基礎	層内	40
		層外	50
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁	層内	50
	基礎の直上り部分	層外	60

「注」(1) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

※鉄骨に対する最小かぶり厚さは50mmとする。  
※設計供用期間の経が超長期はJASS5による。

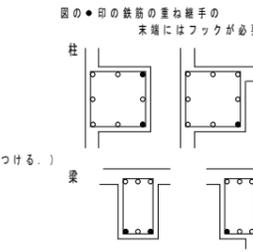
#### (5) 鉄筋のあき

- 丸線では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値 1. 5d以上  
粗骨材の最大寸法の 1. 25倍以上かつ25mm以上



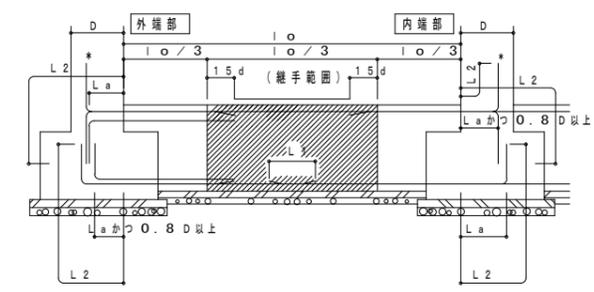
#### (6) 鉄筋のフック (a-fに示す鉄筋の末端部にはフックをつける。)

- 丸線
- あばら筋、帯筋
- 梁の鉄筋
- 柱、梁 (基礎梁は除く) の出すみ部分の鉄筋 (右図参照)
- 単純梁の下場筋、片持スラブの上場筋の先端
- 杭基礎の基礎筋 その他、本配筋標準に記載する箇所

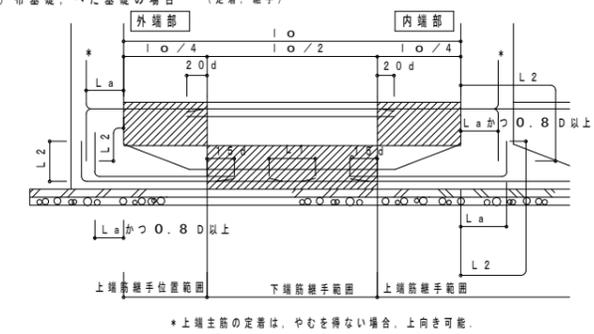


## 5. 地中梁

### (1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



### (2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



横須賀市都市部建築計画課		
建築計画課長	主査等	担当者

一級建築士事務所	神奈川県知事登録	第	号
管理建築士	一級建築士登録	第	号

市立長井中学校部室新築工事	
鉄筋コンクリート構造配筋標準図	

# 鉄骨構造標準図

S. SRC用

## 1. 一般事項

### (1) 材料及び検査

- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、制度及びその他の結果を添付する

### (2) 工作一般

- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする。

### (3) 高力ボルト接合

- (a) 本締めに使用するボルトと、仮締めのボルトの合併はしてならない

### (4) 溶接接合

- (a) 溶接技能者  
溶接技能者は施工する溶接に適合するJIS Z 3801(手溶接)又はJIS Z 3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする

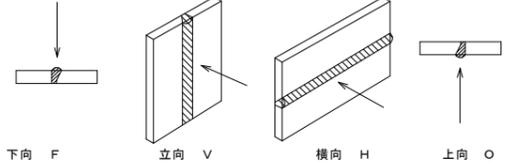
### (b) 溶接機器

- (イ) 交流アーク溶接機 300A-500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ロ) アークエア-ガウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流機
- (ハ) サブアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接機乾燥機

### (c) 溶接方法

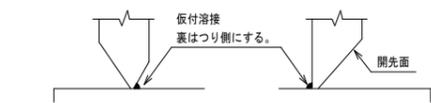
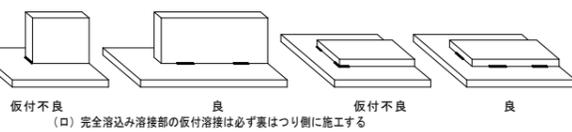
- アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
- セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエア-ガウジング(AAG)

### (d) 溶接姿勢



### (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

- (イ) 仮付位置  
組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となし易い箇所は避ける



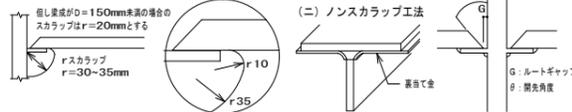
### (f) 溶接施工

#### (イ) エンドタブ

- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同形状のエンドタブを取り付ける
- エンドタブの材質は、母材と同質とする
- エンドタブの長さ、MC: 35mm以上、NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残して切断し、グラインダー仕上げとする
- プレス鋼板タブ、円形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る

#### (ロ) 裏あて金

- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルアルとする



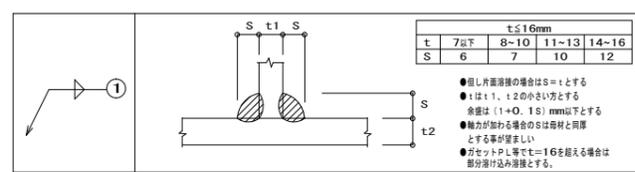
#### (ホ) 裏はつり

- 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を随行し、部材に確認マークをつける
- (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

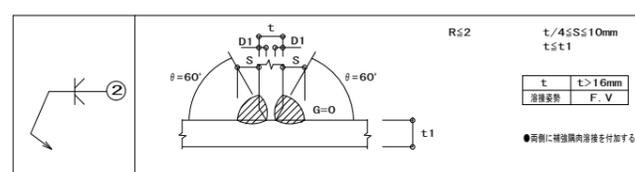
## 2. 溶接規準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位:mm)

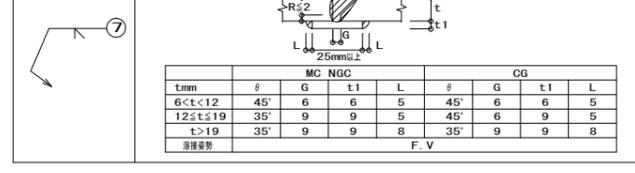
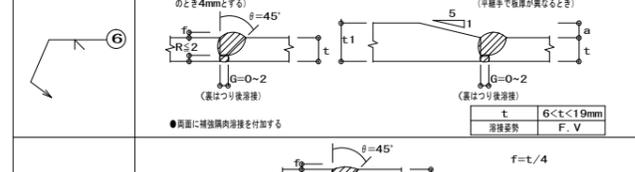
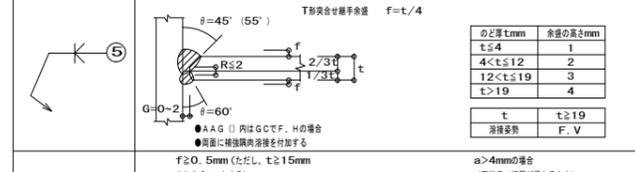
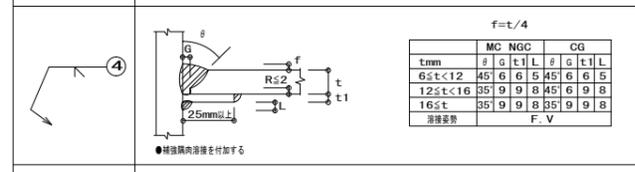
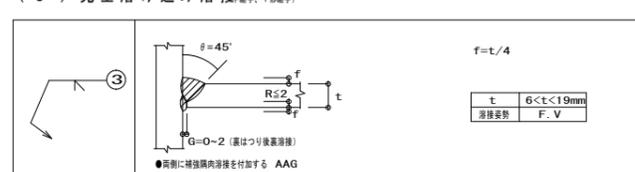
### (1) 隅肉溶接



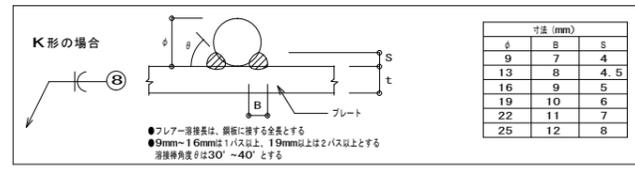
### (2) 部分溶け込み溶接



### (3) 完全溶け込み溶接



### (4) フレアー溶接

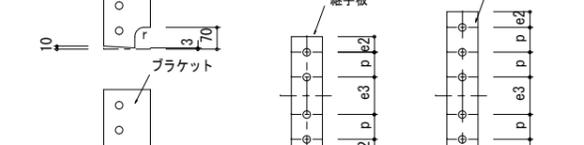
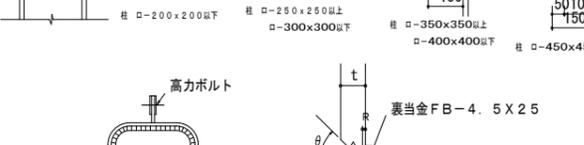
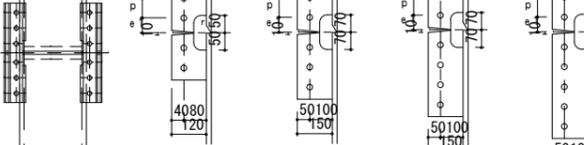
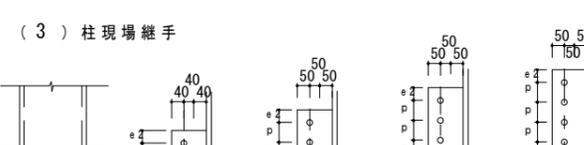
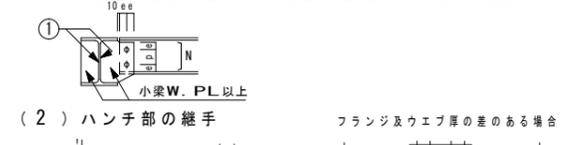


## 3. 継手規準図、その他

### (1) ボルトピッチ(P) ボルト穴径-最小縁端距離

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)				ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)の標準	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	30	45	60	70

- [注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
- (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
- (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の縁端距離



ボルト	M16	M16	M20	M20	M22	M22
継手板	6	9	12	16	19	22
p	70	80	80	80	80	80
e1	50	60	60	60	60	60
e2	40	50	60	60	60	60
e3	100	120	120	120	120	120

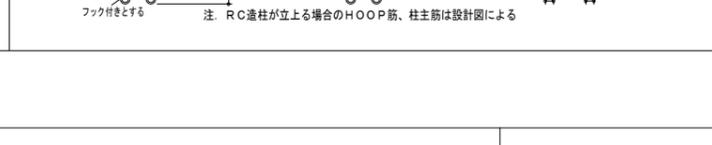
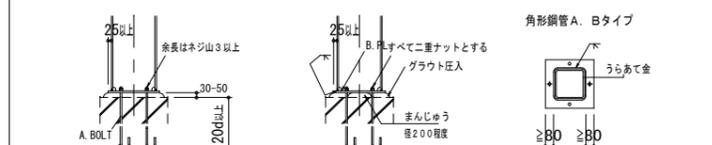
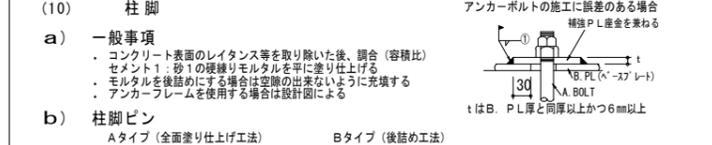
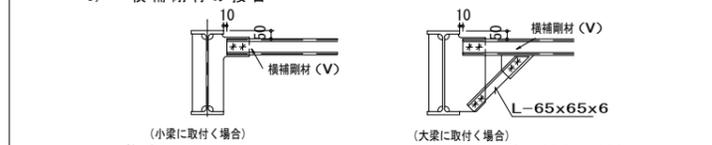
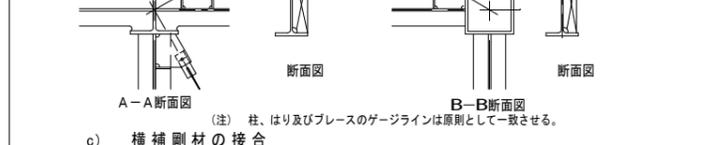
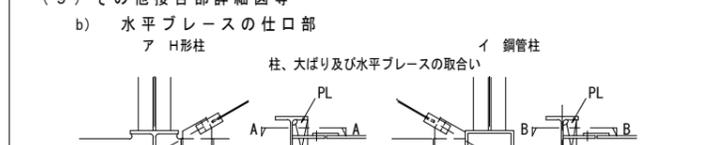
## (4) 鉄筋ブレースJIS規格品とする JISA5540~5542 1982

### (a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
輪径 d	最大 10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小 10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
許容差+0.0-0.5mm R							
はしあき(最小)(2) e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき(最小) (1)e2	22	28	28	34	34	38
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9
平鋼製	へりあき(最小) (1)e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5
	板厚 t	4.5	6	6	9	9	9
ボルト頭から取付ボルト穴のあき(最小) e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ(最小) l	40	50	55	60	75	85	85

### (2) 種類 JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T)

取付ボルト	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
本数		1	1	1	1	1	1	2

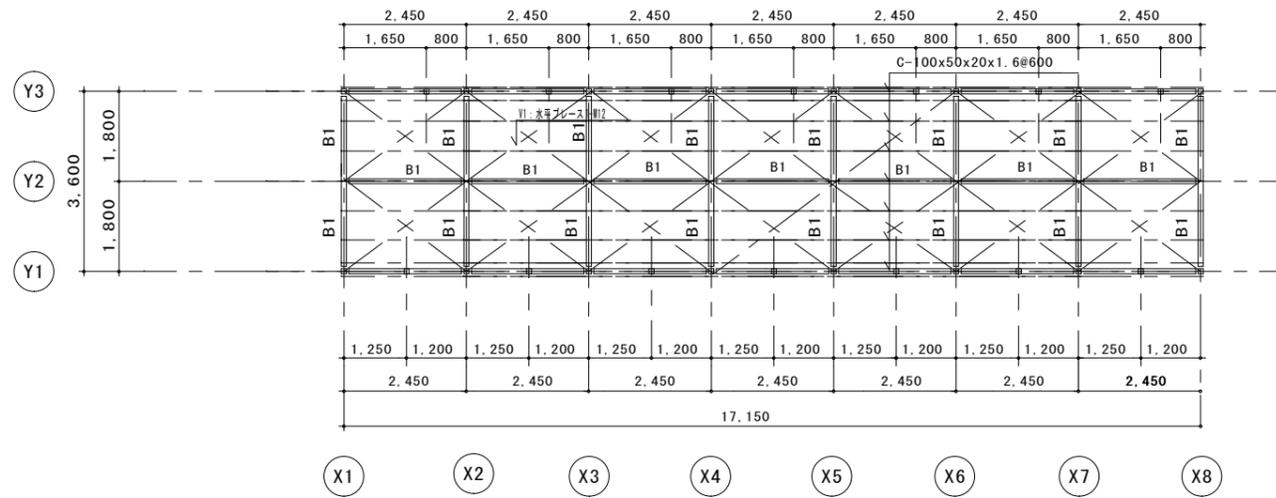


横須賀市都市部建築計画課		
建築計画課長	主査等	担当者

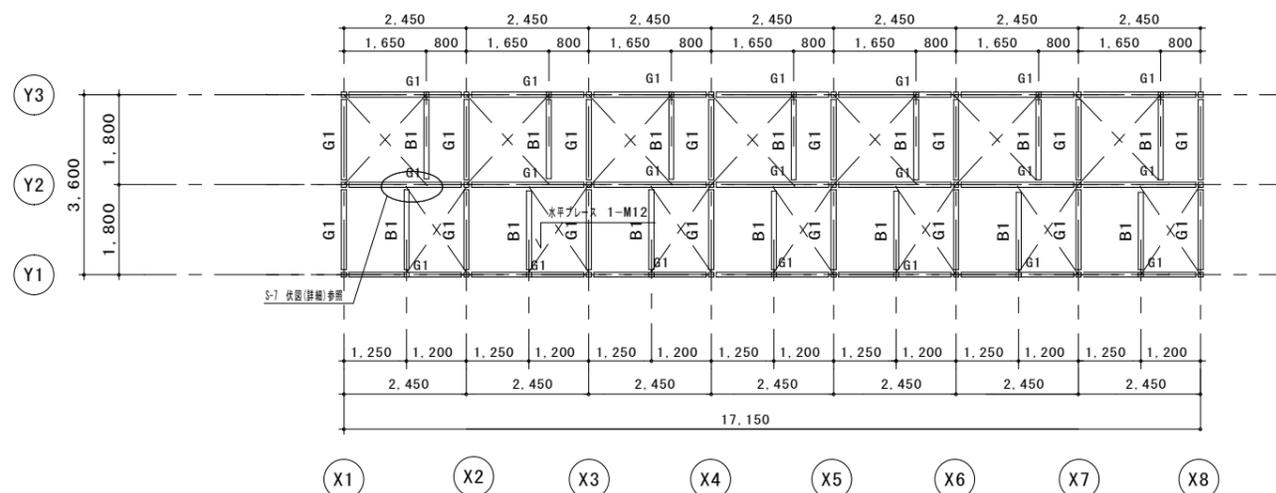
一級建築士事務所		神奈川県知事登録		第 号	
管理建築士		一級建築士登録		第 号	

## 市立長井中学校部室新築工事

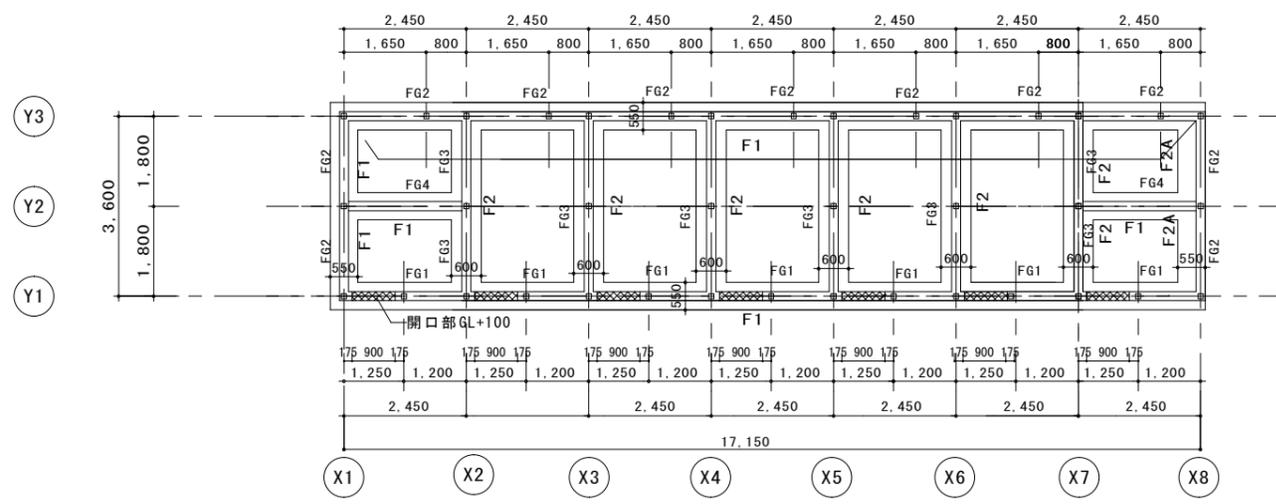
## 鉄骨構造標準図



小屋 伏図 1 : 100



1階 伏図 1 : 100

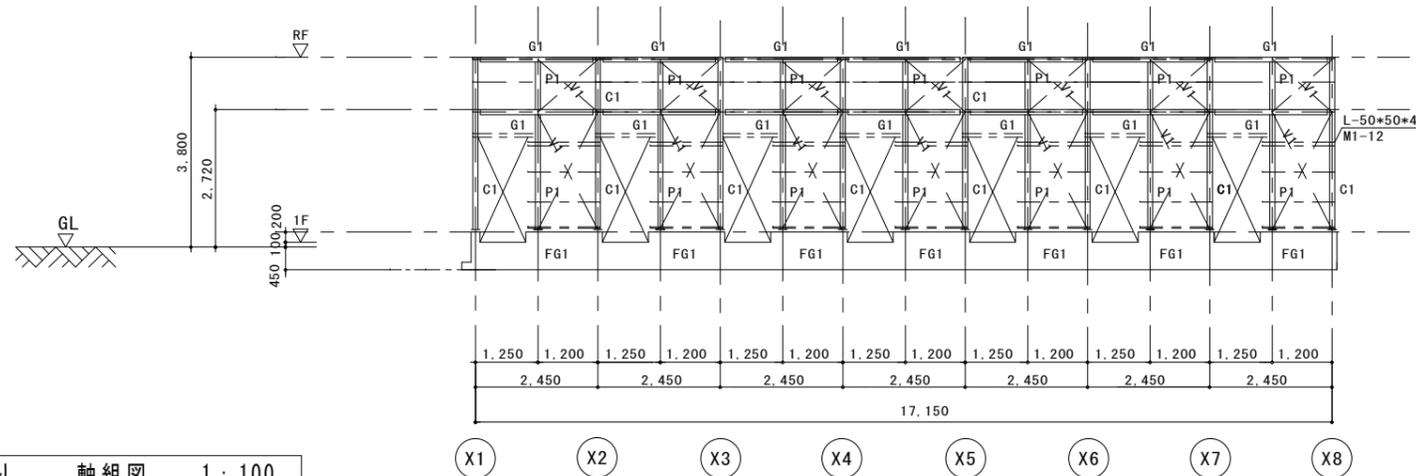


基礎 +1階 伏図 1 : 100

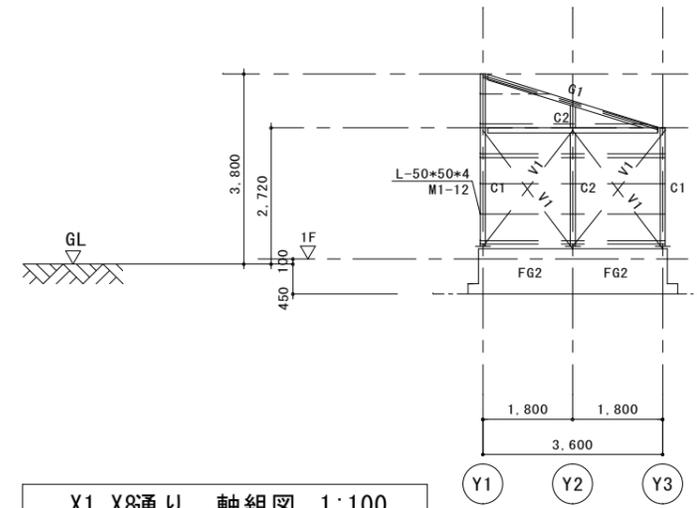
横須賀市都市部建築計画課		
建築計画課長	主査等	担当者

一級建築士事務所	神奈川県知事登録	第	号
管理建築士	一級建築士登録	第	号

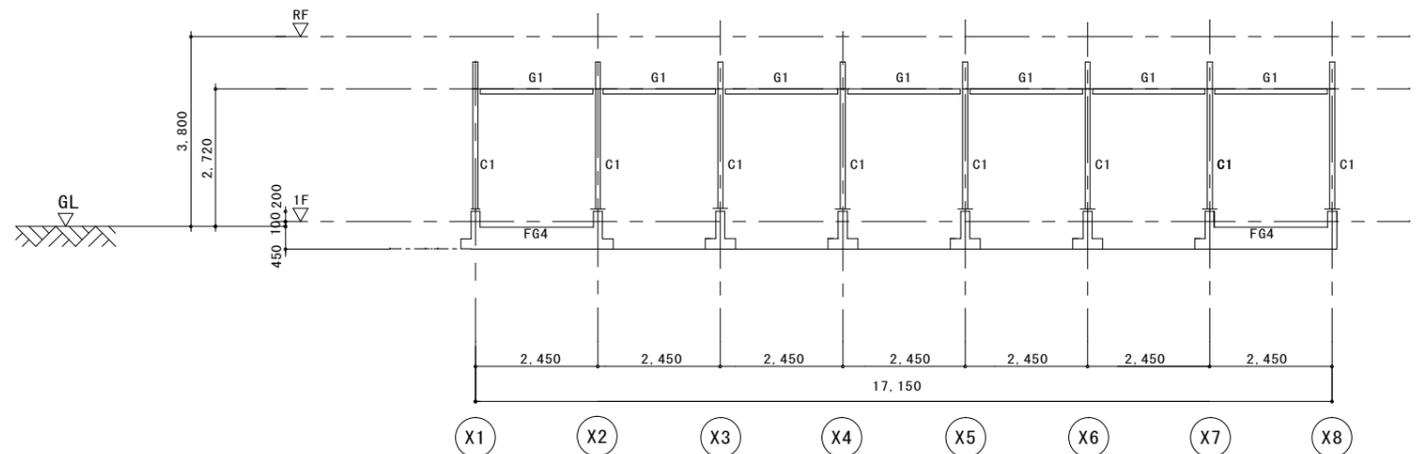
市立長井中学校部室新築工事



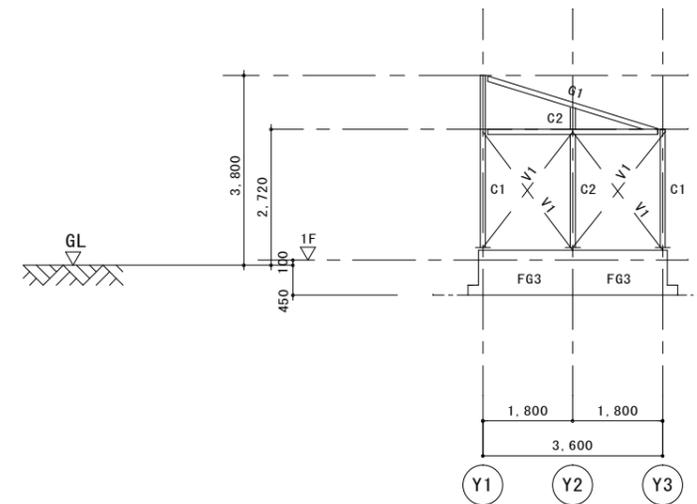
Y1 通り 軸組図 1:100



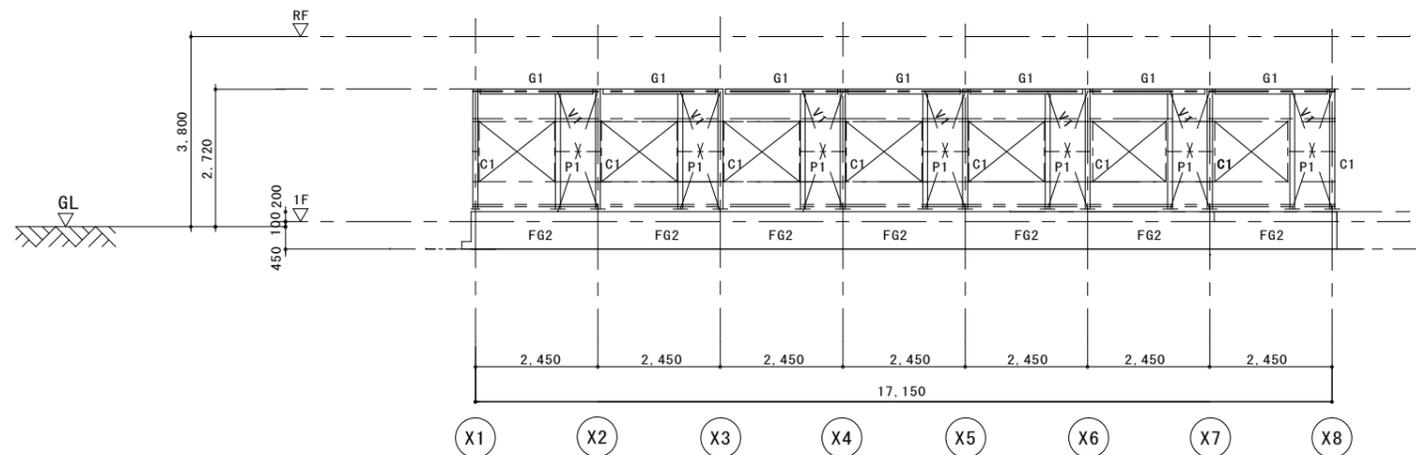
X1, X8 通り 軸組図 1:100



Y2 通り 軸組図 1:100



X2-X7 通り 軸組図 1:100



Y3 通り 軸組図 1:100

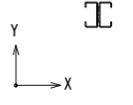
--- 鋼縁 C-100x50x20x2.3 @600 以下  
 === 鋼縁口 -100x100x2.3

横須賀市都市部建築計画課			一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号 管理建築士 一級建築士登録 第 号	市立長井中学校部室新築工事	S — 5
建築計画課長	主査等	担当者			

軸組図

縮尺 1/100 A2: 100% A3: 70.7% 表示

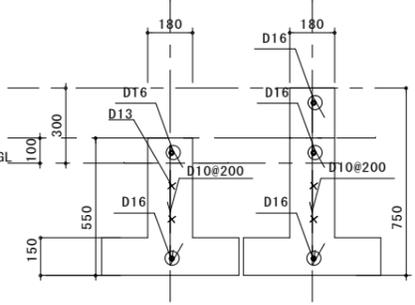
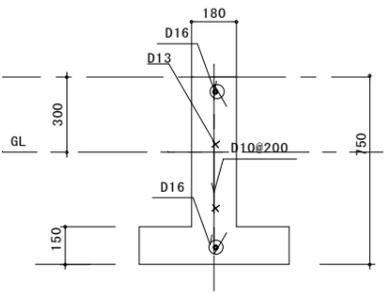
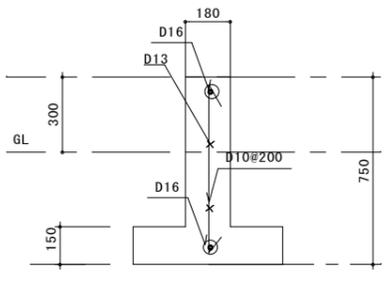
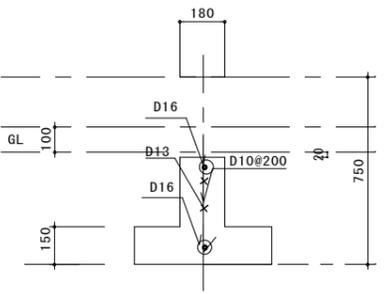
柱リスト S=1/20

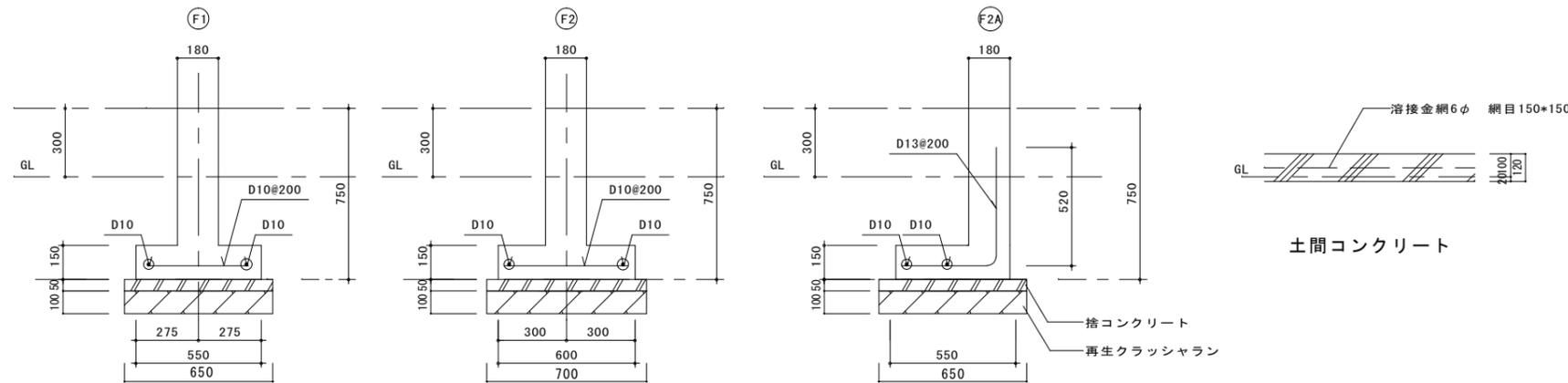
符号	C1	C2
1 断面		
鉄骨	2C-100x50x20x3.2	2C-100x50x20x3.2
備考	SS400	SS400

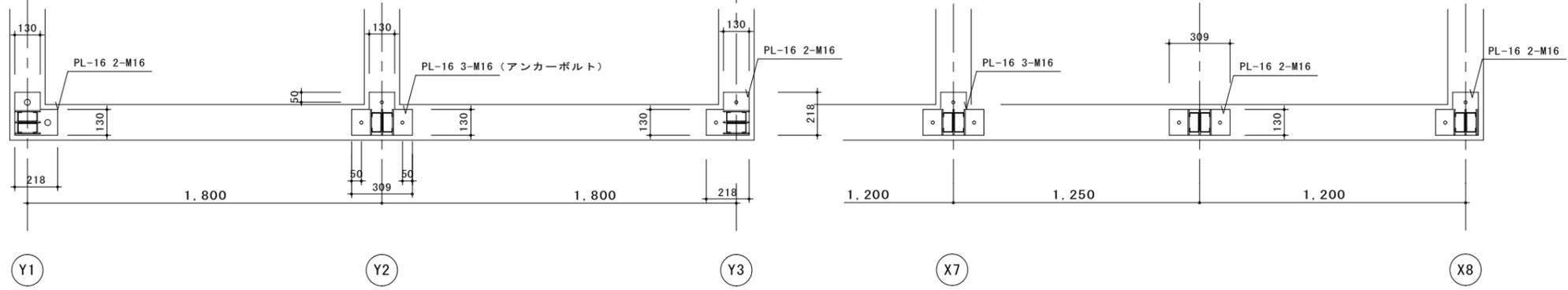
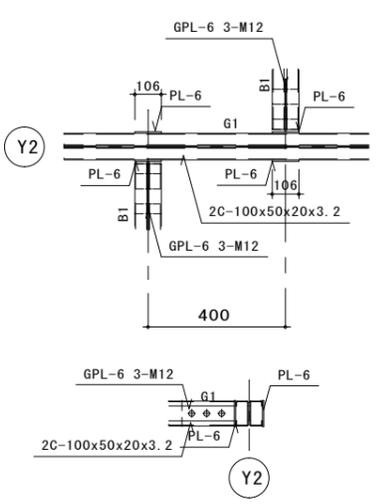
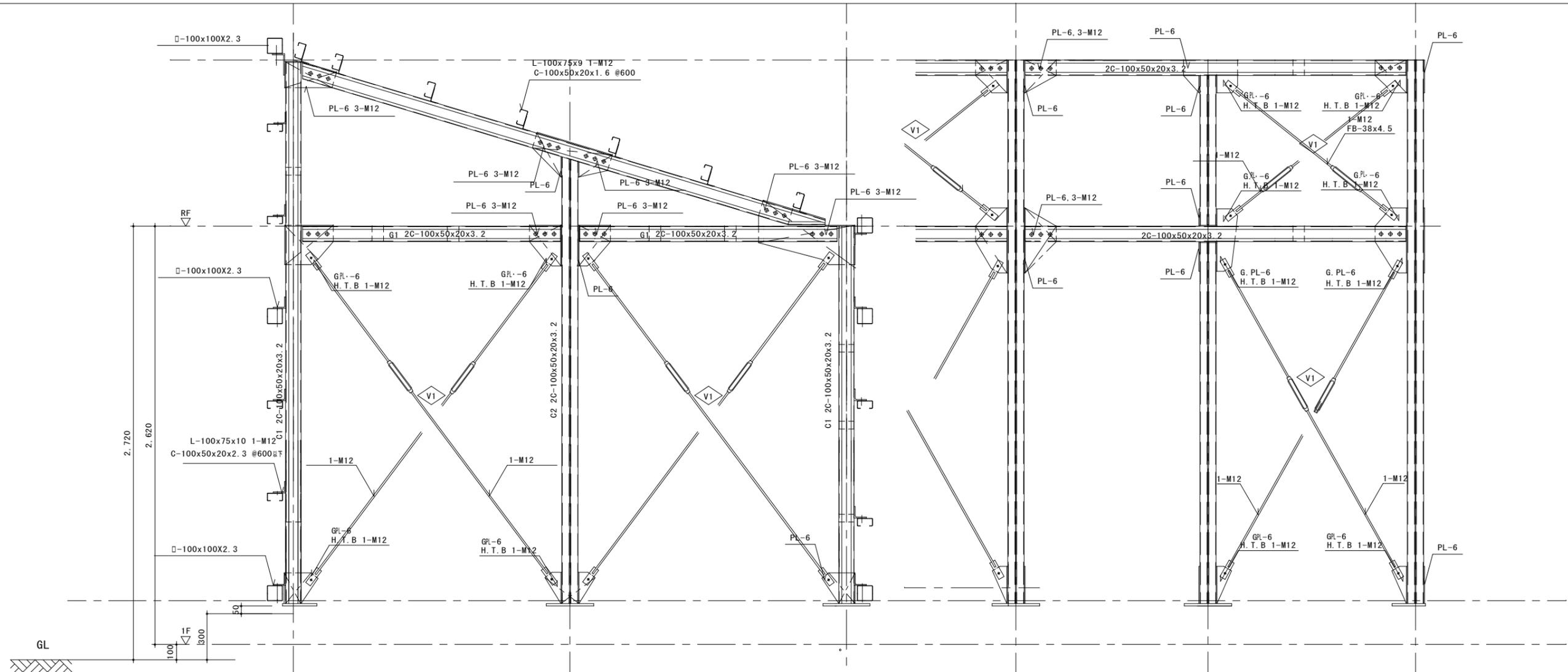
梁リスト S=1/20

符号	G1	B1	P1	V1
1 断面				
鉄骨	2C-100x50x20x3.2	2C-100x50x20x3.2	2C-100x50x20x3.2	1-M12 JIS ターンパクル付き
備考	SS400	SS400	SS400	SS400

地中梁リスト S1:20

符号	FG1	FG2	FG3	FG4
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
上端筋	1-D16	1-D16	1-D16	1-D16
下端筋	1-D16	1-D16	1-D16	1-D16
スターラップ	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200





X8 通り 鉄骨詳細図 1:20

Y1 通り 鉄骨詳細図 1:20

1階 伏図 (詳細) 1:20

横須賀市都市部建築計画課			一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号 管理建築士 一級建築士登録 第 号	市立長井中学校部室新築工事	(S) — 7
建築計画課長	主査等	担当者			
			鉄骨詳細図		縮尺 1/20 A2: 100% A3: 70.7% 表示

# 市立長井中学校部室新築工事

## 電気設備図面リスト

図番	図面名称	縮尺(A2)
E-1	図面リスト・特記仕様書・工事区分表・配置図・断面図	1/100・600
E-2	盤結線図・照明器具参考姿図・部室平面図・凡例	1/100
E-3	体育館平面図	1/200
E-4	体育館既設平面図(撤去図)	1/200

## 電気設備特記仕様書

1. 工事名称 市立長井中学校部室新築工事
2. 工事場所 横須賀市長井5丁目12番1号
3. 建築概要
  - 構造 軽量鉄骨造 平屋建
  - 階数 地上1階
  - 敷地面積 8045.62㎡
  - 建築面積 新築+既存=65.93+2601.340=2667.27
  - 延床面積 新築+既存=65.93+5989.885=6055.815
4. 工事概要 部室の新築に伴う電気設備工事
5. 施工基準
 

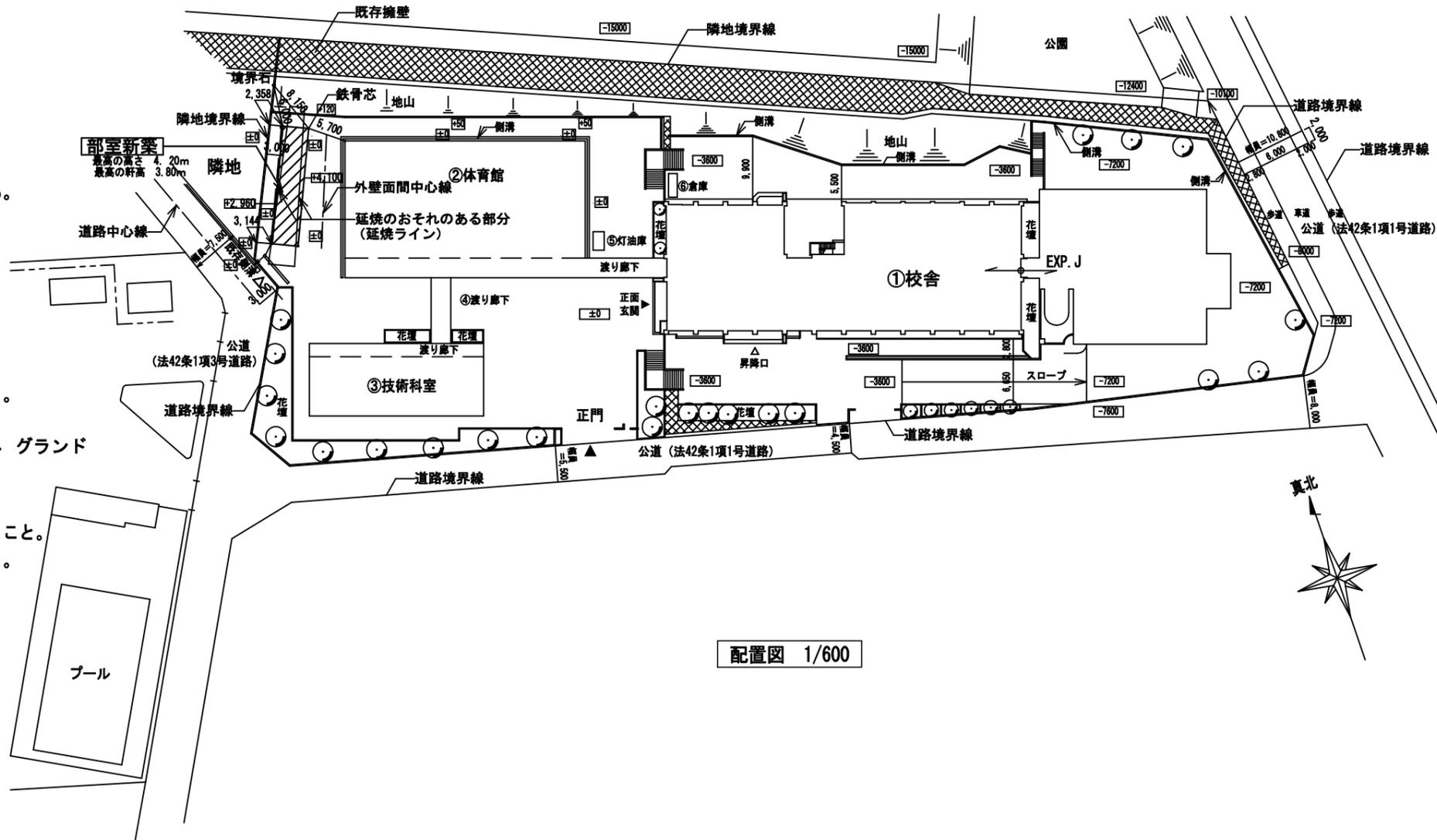
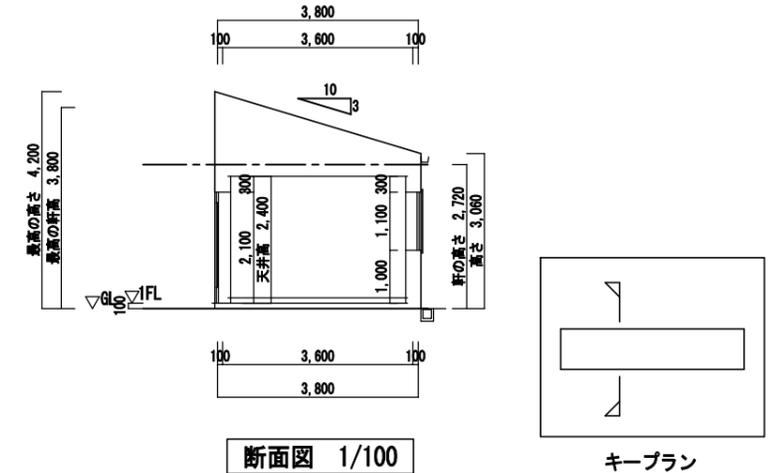
現場説明書、図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、次の仕様書を適用する。

  - 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
  - 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版)
  - 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (令和4年版)
  - 公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版)

電気設備技術基準、内線規程並びに官公庁諸法規に準拠し施工する。
6. 共通事項
  - (1) 工事に際して事前に十分な調査を行い、設計内容を理解・確認の上施工すること。又、変更事項については施工前に必ず監督員に連絡し、指示を受けて施工すること。
  - (2) 各工事業者とは十分な打ち合わせを行い、取合・工事区分等確認すること。
  - (3) 着工にあたって学校長・監督員と協議の上、実施工程表を作成し、監督員の承認を受けること。
  - (4) 工事中の安全対策は十分に行い、学校運営に支障無き様留意すること。
  - (5) 工事に必要な関係官庁との打ち合わせ確認及び届け出等については、遅滞なく行うこと。
  - (6) 図面上記載なくも施工上必要と思われるものは、監督員の指示に従い施工すること。
7. 特記事項
  - (1) 既設再取付器具等は、すべて点検・清掃の上取付のこと。
  - (2) 不用配管・配線・器具等は、すべて撤去する。但し、打込配管はそのままとする。
  - (3) 本工事の撤去・搬出材については、適切な処分を行うこと。
  - (4) 電線・ケーブルは原則として全てエコ電線・エコケーブルを用いる。
  - (5) 屋外の露出配管は溶融亜鉛メッキ仕上げ(無塗装)とし、支持金物、アンカー、ビス等はSUS製とする。
  - (6) 電気主任技術者の立会費は別途学校管理課支払いとする。

## 工事区分表

工事項目	建築	電気	機械	備考
諸官庁申請手続費用	○	●		
仮設電力・水道の使用料金	○	●		
残材処分	○	●		
残土処分	○	●		
貫通部穴埋め補修		●		
同上仕上げ	○			
点検口(天井)	○			
天井付き各種器具穴あけ取付枠及び補強	○			
排水溝・樹蓋設置及び配管敷設工事	○			
消火器の設置(消火器本体及びボックス)	○			

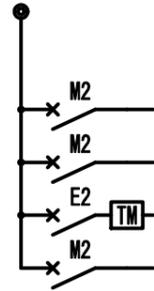


(電気設備)

横須賀市建築計画課			一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号 管理建築士 一級建築士登録 第 号	市立長井中学校部室新築工事	E — 1
建築計画課長	主査等	担当者			
				図面リスト・特記仕様書・工事区分表・配置図	縮尺 A2:1/100・600

部室電灯盤 屋外防雨型 壁掛型 SUS製(製作盤)

体育館電灯分電盤より  
CE8<sup>□</sup>-3C

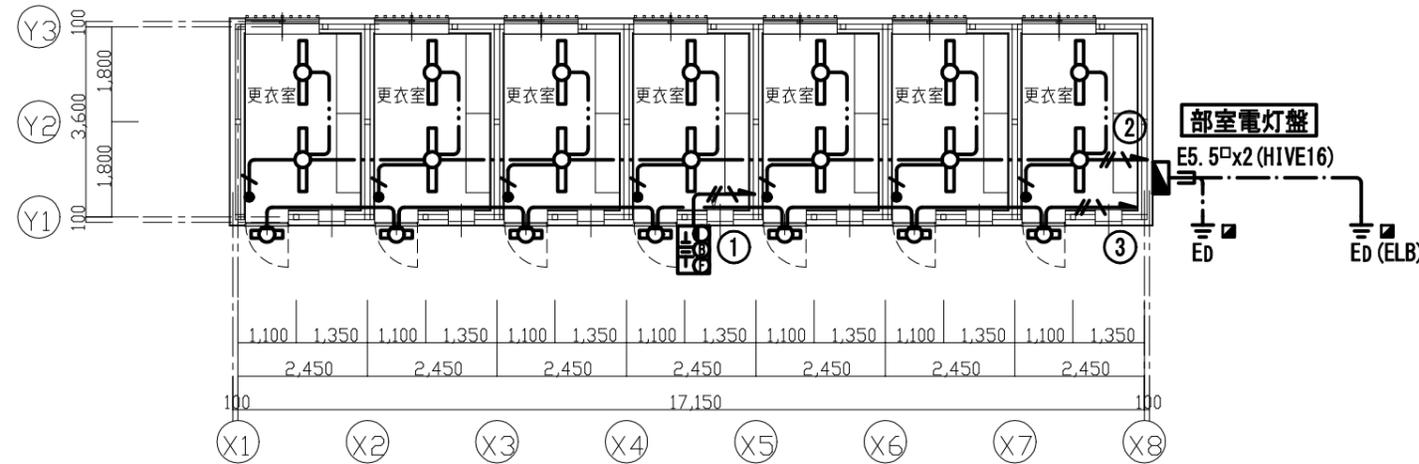


回路番号	負荷名称	容量 (VA)
①	非常警報	50
②	部室灯	350
③	外灯	70
④	ヨビ	—

盤図凡例

	MCCB2P50/20A (1Pサイズ)
	ELCB2P50/20A (1Pサイズ)
	1φ 100V分岐回路
	年間ソーラータイマー (1回路型, 停電補償10年, 手動入/自動/切スイッチ付)
	端子台 3P

部室	
A321	× 14台
B201W	× 7台



部室平面図 1/100

照明器具参考姿図

A トラフ 高出力型			B ウォールライト 防雨型		
A321	LED25W	Ⓞ LSS9-4-30	B201W	LED10W	Ⓞ LBF3MP/RP-2-06
<p>本体: 鋼板(白色粉体塗装) ライトカバー(加パ): ポリカーボネート(乳白)</p>			<p>本体: ステンレス カバー: ポリカーボネート(乳白)</p>		

凡例

記号	名称	備考
	照明器具 LED	直付
	照明器具 LED ウォールライト	直付
•	埋込スイッチ 1P15A ネーム付	1個
	プルボックス ET付	数字は寸法(W, H, D)を示す。 例: 221はW200×H200×D100 WPは防雨型・SUS製を示す
	ジョイントボックス	
	引留金具	
	貫通処理	
	天井点検口	建築工事
	接地極	
	接地埋設標	接地極埋設位置近傍に接地埋設標示板 (黄銅製)で標示を行う
	電灯分電盤	
	分電盤回路表示	AC1φ 100V
	非常警報設備複合装置	埋込防水型
—	天井, 壁いんぺい配管配線	
- - -	地中埋設配管配線	
- · - · -	二重天井内ケーブル ころがし配線	
- · - · -	露出配管	
	配管配線立上げ, 立下げ	

(注記)

・特記なき配管配線は下記の通りとする。

	IE1.6×2	(PF16)
	IE1.6×2 E1.6	(PF16)
	IE2.0×2 E2.0	(PF16)
	EEF1.6-3C (1本7-ス)	ころがし

(電気設備)

横須賀市建築計画課

建築計画課長	主査等	担当者

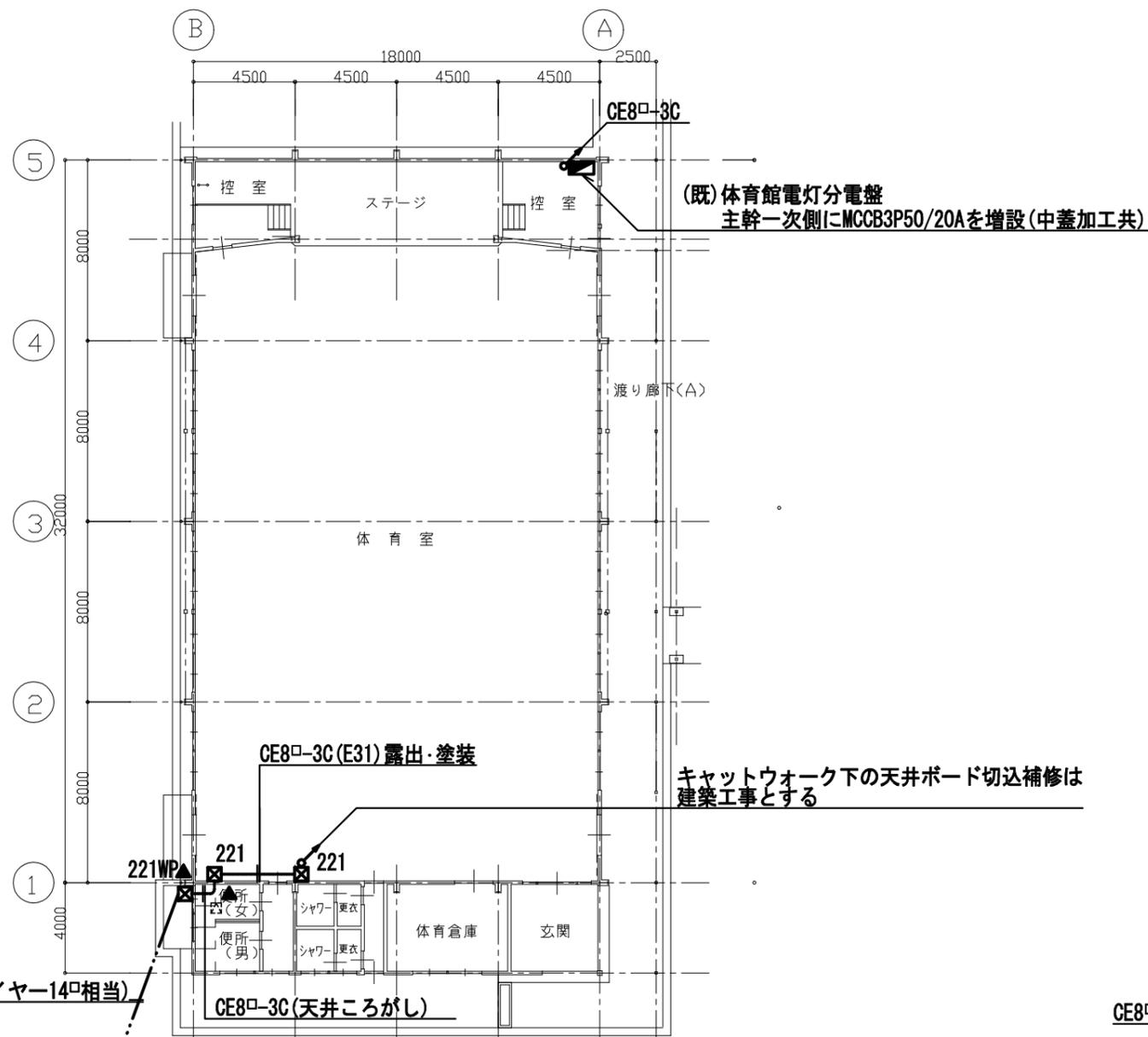
一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号  
管理建築士 一級建築士登録 第 号

市立長井中学校部室新築工事

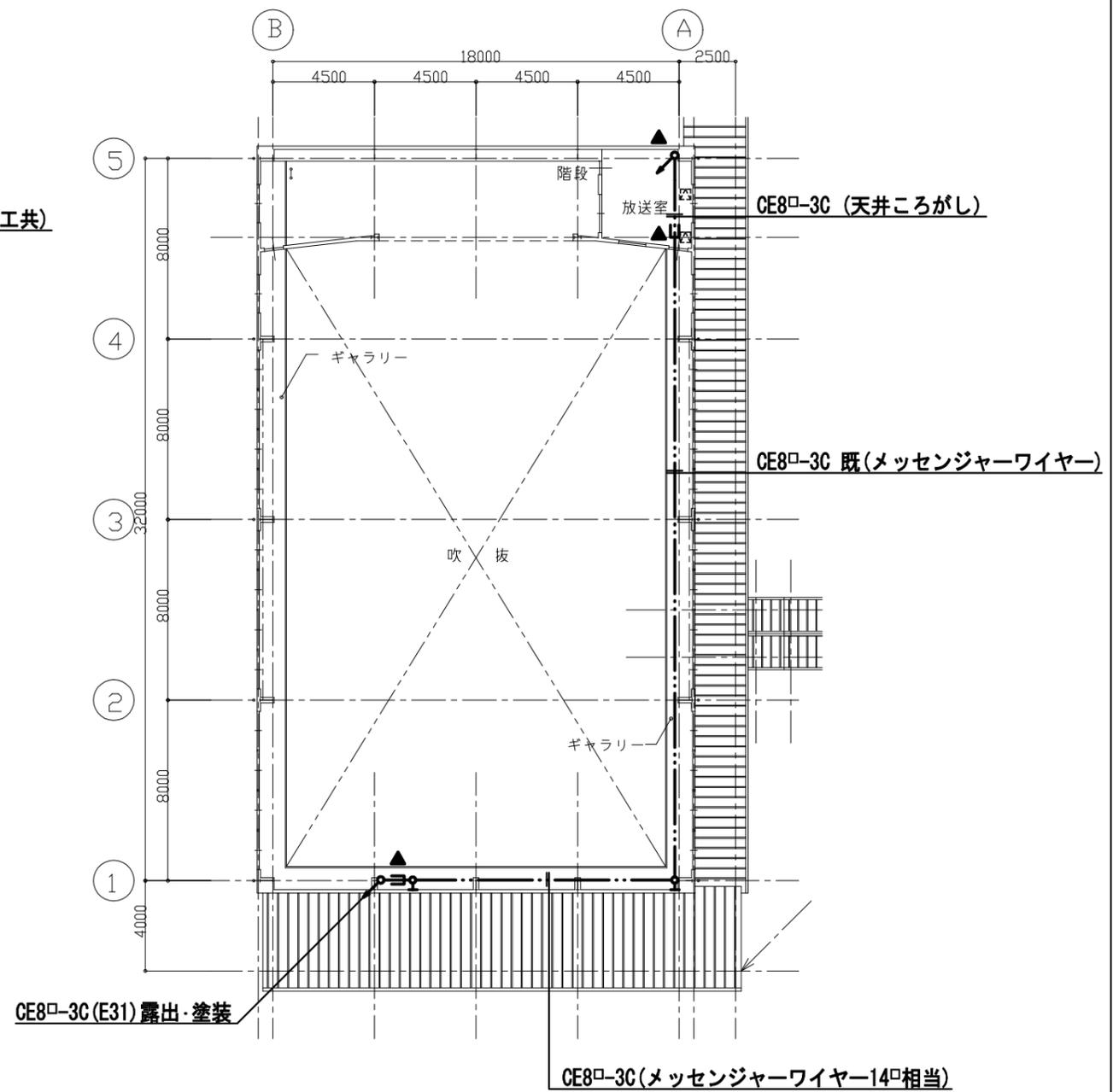
Ⓔ — 2

盤結線図・照明器具参考姿図・部室平面図・凡例

縮尺 A2:1/100



体育館1階平面図 1/200 (改修図)



体育館2階平面図 1/200 (改修図)

(電気設備)

横須賀市建築計画課

建築計画課長 主査等 担当者

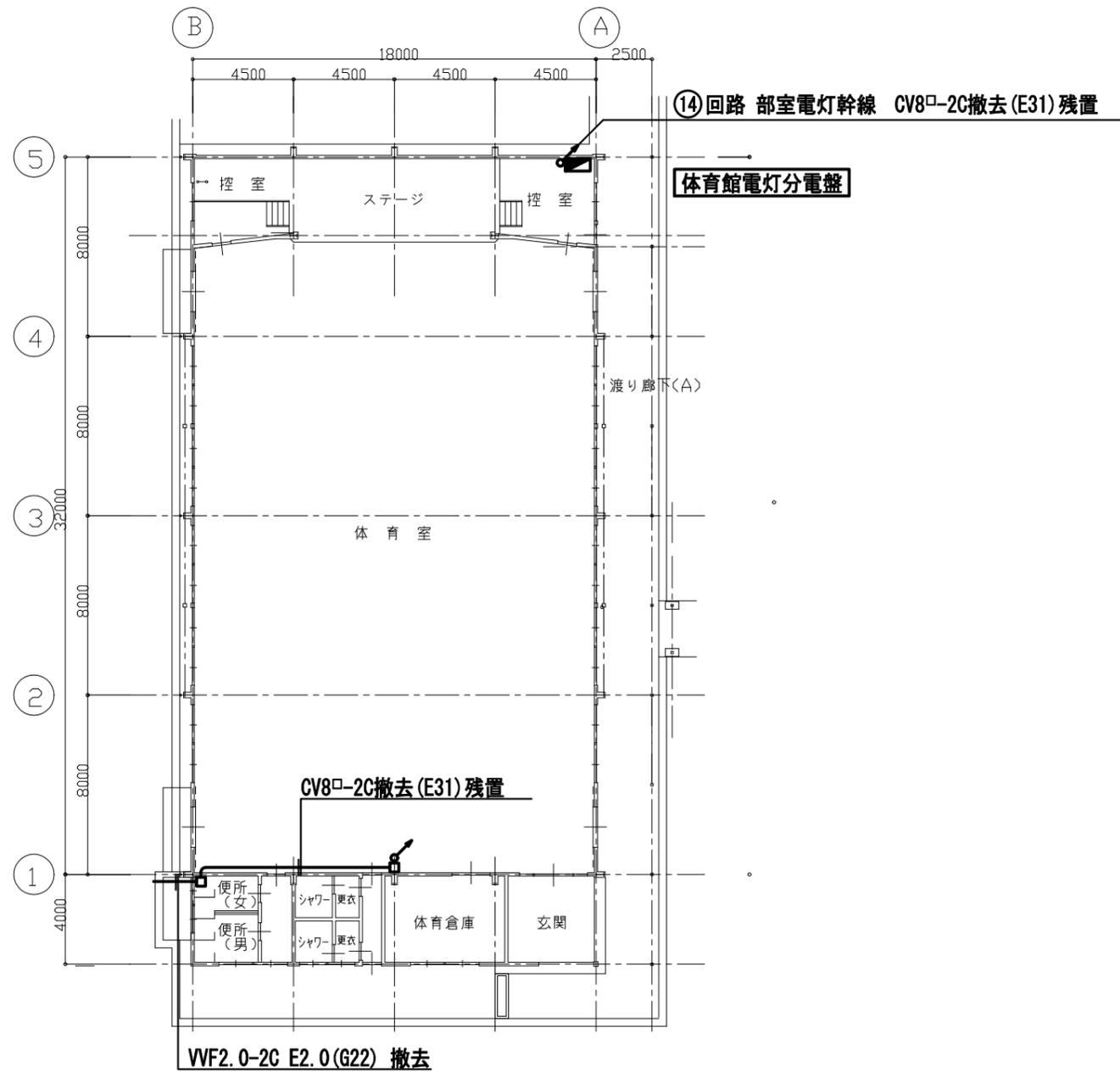
一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号  
管理建築士 一級建築士登録 第 号

市立長井中学校部室新築工事

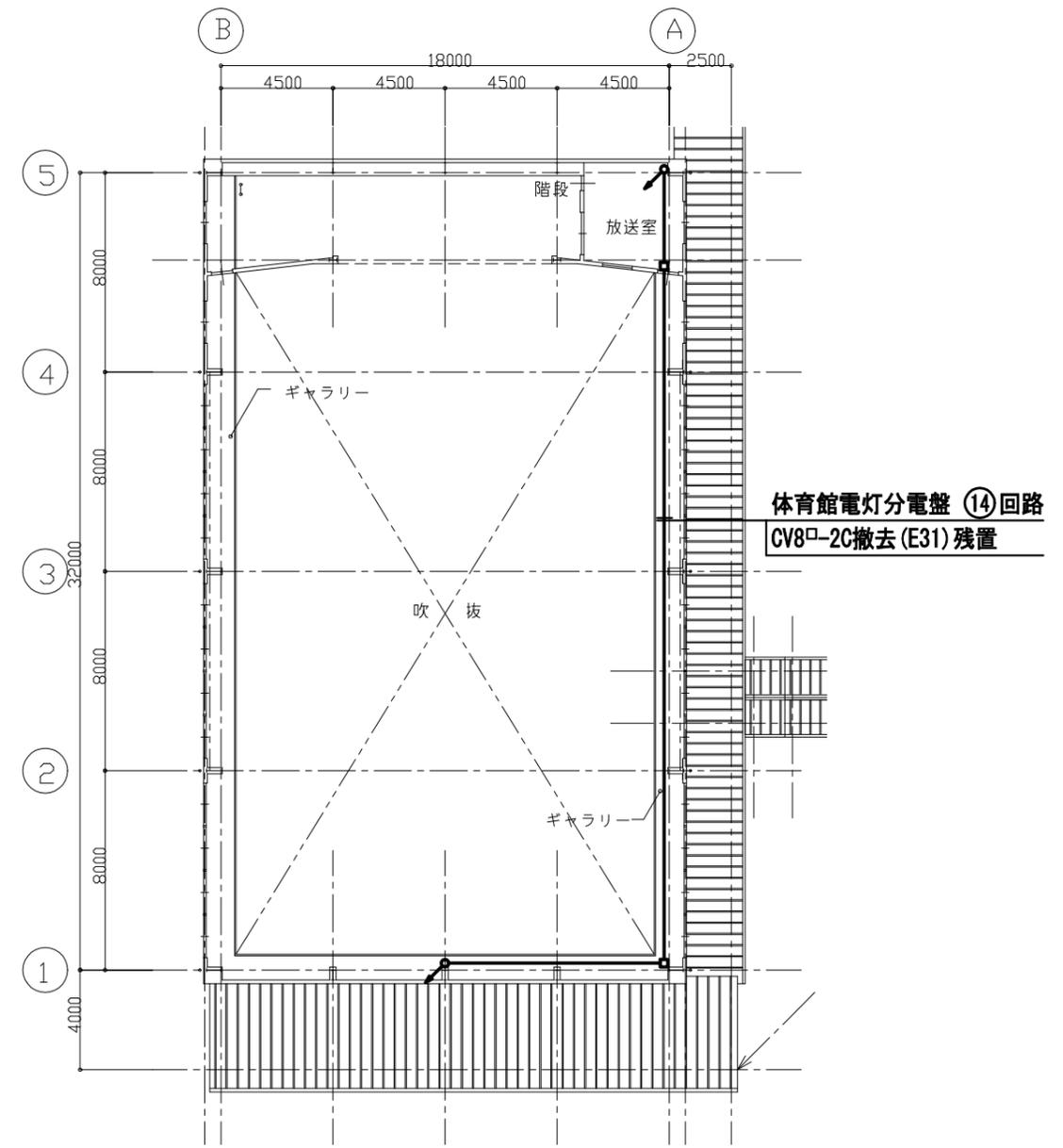
Ⓔ — 3

体育館平面図

縮尺 A2:1/200



体育館1階 既設平面図 1/200 (撤去図)



体育館2階 既設平面図 1/200 (撤去図)

(電気設備)

横須賀市建築計画課			一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 号 管理建築士 一級建築士登録 第 号	市立長井中学校部室新築工事	E — 4
建築計画課長	主査等	担当者			
				体育館 既設平面図(撤去図)	縮尺 A2:1/200